

**2019年台風15号の対応を踏まえた
課題対策の実施状況について
【概要版】**

2020年4月21日

北海道電力株式会社

1.2019年台風15号の対応を踏まえた課題対策【応援側の課題対策】

・今回の復旧応援にあたった「現場対応」や「本店オペレーション対応」を踏まえ、「応援する側」の課題を洗い出し、更なる対策を実施する。

課題	対策・方向性	実施状況（計画／実績）
長期継続にも対応可能な機動的な支援本部の体制を構築。	支援本部の体制や役割を整理し規程に明文化する。	2019年度／2019年度完了 ・2019.12 関係各部との意見交換実施 ・2020.3 規程改正
本部設営に必要な資機材および携行品の整理。	必要な資機材等を整理し、購入する。	2019年度／2019年度完了 ・2020.2必要資機材のリスト作成済み ・2020.3 資機材購入
食事手配、宿泊施設の選定基準の策定。	各種手配に関する取扱いを整理する。	2019年度／2019年度完了 ・2019.12 関係各部との意見交換実施 ・2020.3「派遣運営要領」を作成
関係各部との意見交換会や連携訓練の実施。	派遣要請対応訓練を実施する。	2019年度／2019年度完了 ・総務部および配電部と「派遣運営要領」に基づく、勉強会を実施。2020年度訓練計画（台風シーズン前）において、実務訓練を実施する。
他電力会社との後方支援に係る連携強化。	他電力会社と意見交換を実施する。	2019年度／2019年度完了 ・2019.11 電力防災会議開催
早期に倒木、設備被害状況を情報収集し、多数箇所および大径木の倒木がある場合の復旧対応に関する体制の構築。	伐採専門工事会社の道外派遣体制を整理する。	2019年度／2019年度完了 ・他電力会社で発生した災害による倒木被害状況を踏まえた道外への伐採工事会社等の派遣に関する運用を整理

- ・今回の被災状況を道内に置き換え、情報発信や関係機関との連携、復旧プロセスなど「被災側」の課題を洗い出し、更なる対策を実施する。

課題	対策・方向性	実施状況（計画／実績）
SNS、ホームページ以外の情報提供手段を確保。	ラジオを通じた積極的な情報提供方法について、ラジオ局と連携し検討する。	2019年度／2019年度完了 ・大規模な通信障害により、ラジオ局への情報提供が困難なケースを想定し、衛星電話回線を利用したFAXデータ通信の受容性をラジオ局各社へ確認。 ・ラジオ局として、衛星電話は、現場と本社間の情報連絡手段であり、非常時における受信手段としての活用は適さないとのこと。 ・合わせて、有事の際は、迅速かつ頻繁に記者会見やレクチャーを実施してほしいとの要請がなされたため、これに着実に対応していく。
設備被害状況の早期把握、情報収集の強化および復旧計画の策定による確実な復旧見通しの発信。	ヘリコプターやドローンによる広範囲な巡視を可能とする体制を早期に構築し、設備被害状況を収集、被害規模に応じた復旧見通しを発信できる運用を整理する。	2019年度／2019年度完了 ・JAXAと内閣府が締結している「人工衛星等を用いた災害に関する情報提供協力に係る取り決め」について、同意書の提出により、本協定の適用が可能となった。 ・ヘリコプター（セスナ機含む）による被害設備の空撮方法を航空会社へ確認し付託方法等を整理 ・全道に配置されているドローンを活用するための運用を整理

2.2019年台風15号の対応を踏まえた課題対策【被災側の課題対策（2）】

- ・今回の被災状況を道内に置き換え、情報発信や関係機関との連携、復旧プロセスなど「被災側」の課題を洗い出し、更なる対策を実施する。

課題	対策・方向性	実施状況（計画／実績）
<p>自衛隊への支援要請方法、支援可否判断に関する情報共有。</p>	<p>自衛隊との意見交換を実施、運用方法を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度以降／2020年度継続 ・2019.12 調整所設置や共用図面等に関する意見交換を実施 ・2020.1 北海道防災会議で自衛隊を含む関係機関と情報交換を実施 ・2020.3 自衛隊、関係機関と2020年度合同訓練に関する意見交換を実施
<p>北海道や自治体との倒木処理、伐採要請に関する体制強化。</p>	<p>北海道との連携に関する体制を強化する。</p>	<p>2020年度以降／2020年度継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019.12 北海道開発局と国道に関する協定締結に向けた協議を開始 ・2020.4 北海道との協定締結に向け協議実施 ・2020.5 北海道開発局と協定締結予定
<p>他電力会社が復旧作業に入った場合の当社資機材による復旧環境の整備。 （冬季災害に備えた屋内拠点スペースの確保）</p>	<p>待機場所リストの拡大、仮資材置場等の設置による当社資機材の支給に関する運用を整理する。</p>	<p>2019年度／2019年度完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019.12 防災協定締結先企業の地域店舗、事業所リストを整理 ・復旧資材の運搬、管理運用を整理 ・北海電気工事および北海道電気保安協会へ屋内スペース利用について、協力依頼を実施

2.2019年台風15号の対応を踏まえた課題対策【被災側の課題対策（3）】

概要	対策	実施状況（計画／実績）
<p>復旧指令の統括箇所から現場へ迅速かつ正確に情報伝達される体制の構築。</p>	<p>復旧指令の統括箇所と災害現場の対応拠点との情報伝達体制を整理する。</p>	<p>2019年度／2019年度完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧指令の統括箇所と災害現場の対応拠点との連絡体制図を作成し、他電力会社への情報伝達方法を整理 ・携帯電話が使用できない場合の通信手段を整理
<p>他電力会社の電源車による応急送電時に、高圧線への接続作業が円滑に実施できる運用の整理。</p>	<p>他電力会社の高圧線への接続方法を確認し、接続に関する運用を整理する。</p>	<p>2019年度／2019年度完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他電力会社における電源車の高圧線への接続方法を確認し、他電力会社の電源車を受け入れる場合の運用方法の整理を進めており、電力10社による災害時連携計画において整理
<p>災害時対応におけるタンクローリーのフェリー乗船に関する各種証明書類の要否、手続き方法の確認。</p>	<p>各フェリー会社のタンクローリー乗船に関わる運用基準を確認する。</p>	<p>2019年度／2019年度完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の給油対応として、他電力会社からタンクローリー支援を受ける際のフェリー乗船に関わる各フェリー会社の手続き方法を確認。